

# 少年センター **だより**

守山野洲少年センター

相談は ☎ **583-7474** まで

『あすくる守山野洲』

<http://www.usennet.ne.jp/~syonen-c/>

『あすくる』では、  
一人ひとりに応じた支援を行っています。

守山野洲少年センターには『あすくる守山野洲』が設置されており、中学生をはじめ高校生など、20歳になるまでの青少年への様々な相談活動や就学(学校・学習など)・就労(仕事)に関する支援を行っています。

学校のことや家族・友人関係の問題、また、今後の進路や仕事のこと、自分自身に関することなど、さまざまな相談に応じています。

相談してみようと思う方は、まずは気軽に電話してください。また、学校の先生を通じて相談の申し込みをしていただいても結構です。・・・『あすくる』ってどんなところなのか、「見学」だけでも大丈夫です。

『あすくる守山野洲』には、臨床心理士・教員・コーディネーターらが在籍し、相談者のニーズに応じたプログラムで支援を行っています。保護者の相談にも応じています。

## <5つの支援プログラム>

### ①生活改善支援(生活のリズム)

不規則な生活習慣の改善

### ②自分探し支援(将来に向かって)

カウンセリングや様々な体験活動の実施

### ③就学:しゅうがく(学習)支援

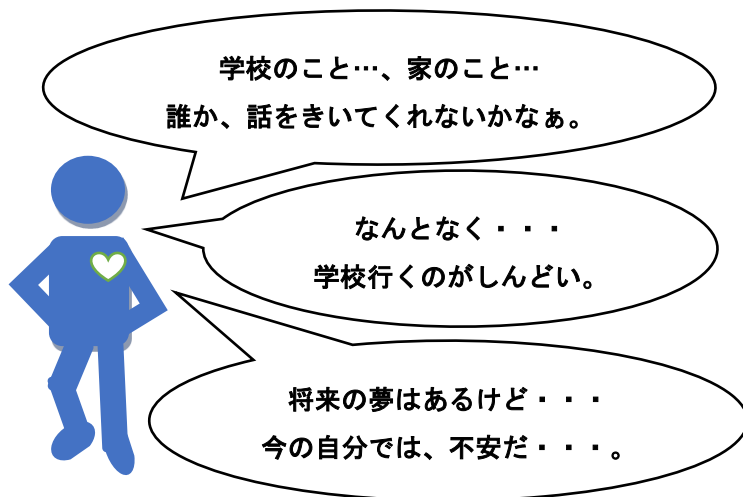
進学や復学に向けての学習支援(個別)

### ④就労:しゅうろう(仕事)支援

社会に出るための手助け

### ⑤家庭支援

保護者相談や家庭生活環境の調整



※上記のプログラムを組み合わせで支援します。

※臨床心理士によるカウンセリングは、毎週、水・木・金の3日間となっています。まずは、電話にて予約をお願いします。  
※その他相談は、いつでも対応しています(平日)。

『あすくる守山野洲』  
守山市商工会館3階  
電話

583-7474

# SNSで性的（はずかしい）画像の送信を強要<sup>きょうよう</sup> 「自画撮り」の被害が増加

近年、中学生を中心に「自画撮り被害」が増加しています。新聞やネットニュースなどでも、このことに関連した報道が見受けられます。

普通は、だれも「自分の裸の写真なんて送らない・・・」とっていますが、実際に被害にあった生徒が男女を問わず増えているのが現状です。

それでは、なぜ「送ってしまう」のでしょうか。

## 「オンライングルーミング」が被害の入口

被害者のほとんどは、チャット機能のあるオンラインゲームや Twitter、Instagram などの SNS を通じて加害者と知り合っています。

その投稿の中で、「自分に関する悩みや不安」などを書き込むと、親切なふりをして悩みを聞いたり相談に乗ったりして被害者の信頼を得てから、聞き出した個人情報をもとに「相談内容を周囲にばらす・・・」などとおどして、裸などの画像を送らせる。一度送ってしまうと、それをネタに要求がエスカレートしていくということです。金銭を要求された被害もあります。また、インターネット上に流出した画像を消し去ることは不可能です。

特に、社会経験が少ない（幼い）小・中学生は、本当に親切な人と、親切なふりをして近づいてくる悪意のある大人との違いを見抜くのは、むずかしいと言えます。（中には、同性や同級生のふりをして近づく例もあります。）

SNS で「親切にしてくる人の中には、性犯罪や金銭をおどし取ることを目的としている人物がいる」というこ

とを知っておく必要があります。SNS など知らない人との会話のやり取りは、十分に慎重であるべきです。個人情報は、けっして教えたり書き込んだりしてはけません。

もし、「変だな」と感じたら、それ以上かかわらないようにし、被害にあいそうになったり、画像の送信や金銭を要求されたりしたときは、保護者をはじめ、学校の先生、警察などに相談しましょう。少年センターでも、相談に応じます。



麻薬・覚せい剤・大麻・危険ドラッグの乱用をなくそう！

6月20日から7月19日

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施



覚せい剤や麻薬、大麻、危険ドラッグなどの薬物の乱用は、あなたの健康やあなたの周りの人々に計り知れない害悪をもたらします。たとえ1回だけでも「乱用」です。絶対に使わないでください。

## 薬物乱用は、一部の人たちだけの問題ではありません

厚生労働省によると、20代の約15人にひとり、10代の約28人にひとりが「過去1年以内に薬物使用経験のある知人がいる」と回答しています。また、20代の約3人にひとり、10代の約4人にひとりが、薬物の入手可能性について「なんとか手に入る」「簡単に手に入る」と回答しています。

## きっかけは・・・「誘われて」「興味本位」「その場の雰囲気」



ネットには、間違った情報があふれています。注意しましょう。

## 薬物乱用を防止するために

- ・薬物乱用の危険性は身近にあり、自分とは関係ないと思わない。
- ・誘われても、「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気を持つ  
(断りにくいときは、その場から逃げる。逃げることも勇気)
- ・ひとりで悩まないで、友人や家族、信頼できる人に相談する。

## 7月は「青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間」です。

夏休みが近づいてきました。子ども達は、今までの規則正しい生活から少しだけ気もゆるみがちになります。気をつけましょう。そして、起床や就寝の時刻だけではなく、外へ出歩く時間もゆるんできます。気がゆるむと、ちょっとしたきっかけで非行に走ることも少なくありません。夜間、特に深夜（午後11時～午前5時）に出歩いたり、昼間でも特に用事もなく量販店などをウロウロすることにより、犯罪被害にあう危険も高くなります。

滋賀県の少年犯罪状況から令和2年と令和3年を比較すると、罪を犯す少年のうち「初発型」といわれる万引き・自転車盗・オートバイ盗・占有離脱物横領については、若干増加した万引きを除き減少をしています。また、滋賀県青少年健全育成条例や児童買春・児童ポルノ禁止法などの被害者となった少年も減少をしてはいるものの、令和3年だけでも滋賀県下で32人いました。まだまだ厳しい状況が続いています。

特に、SNSの利用をきっかけとして犯罪の被害にあう子どもが増加しています。被害にあった子どものうち、9割がスマートフォンを使用しており、ほかにもタブレット型端末機などのインターネット接続機器を使用していました。

非行に走る子も被害を受ける子も、どちらも大きなダメージを心に受けます。私たち大人はしっかりと見守り、子どもたちに明るい未来を目指してほしいと思います。

### 令和4年度 守山野洲少年補導委員名簿について

5月に発行しました少年センターだより第189号の4ページ目にありました少年補導委員名簿の中で、調整中となっていました北野地区の自治会名と補導委員様の氏名が下記のとおりとなりますので、お知らせします。

北野地区 竹ヶ丘 川 真人      ヴィルヌーブ野洲 西 葉月      (敬称略)

長年にわたり少年補導委員として務められ、青少年健全育成に貢献していただいた方に、守山野洲少年センター運営委員会会長から賞状が贈られました。

《表彰状》 守山地区 野々村 利英      玉津地区 宮嶋 清代

《感謝状》 玉津地区 荒木 正秋

(敬称略)

守山野洲少年センター 『あすくる守山野洲』  
〒524-0021 守山市吉身三丁目11番43号 守山市商工会館3階  
TEL:077-583-7474・077-570-7557 FAX:077-581-1419  
<http://www.usennet.ne.jp/~syonen-c/>

月曜～金曜（土日祝・年末年始は休業）  
8時30分～17時15分 秘密厳守・  
相談無料  
臨床心理士のカウンセリングは 要予約  
(水・木・金) まずはお電話ください